

PROLOGUE

# 自然と共に 人の営みがある場所

クイーンズメドウ・カントリーハウスを訪ねて

みどりや戸外の気持ち良さを改めて実感する日々が続く。  
環境への危機感から、エコロジカルな緑化にも注目が集まる。  
これまでの人間中心の開発ではなく、  
人と自然が共にあるサステイナブルな環境はいかに可能か。  
そのヒントを求めて、ランドスケープデザイナーの田瀬理夫さんが  
20年前に岩手県遠野で仲間たちと始めた実験的な農場  
「クイーンズメドウ・カントリーハウス」を訪れた。

撮影／高野ユリカ

馬付住宅を中心にした実験的な農場「クイーンズメドウ・カントリーハウス」。パドックの背景にはカラマツの列植がそびえ、奥にカラマツ材を使った、風景になじむ馬付住宅が建つ。2006年に建築家の永田昌民さんと谷設計所が設計した。左が馬房で右がゲストルーム、2階に居住部が配される。